

第4回まちづくり推進部会 - オープン会議

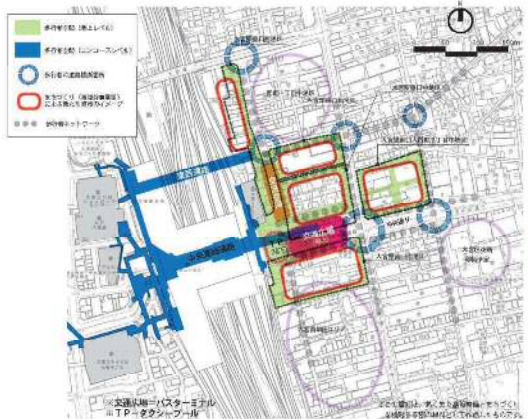
これまでのGCS推進会議や基盤整備部会・まちづくり推進部会での検討状況を広く市民の皆さまと共有し、意見交換をすることを目的とするオープン会議を開催しました。活発な議論が展開し、駅前を含む広く大宮について議論を頂きました。



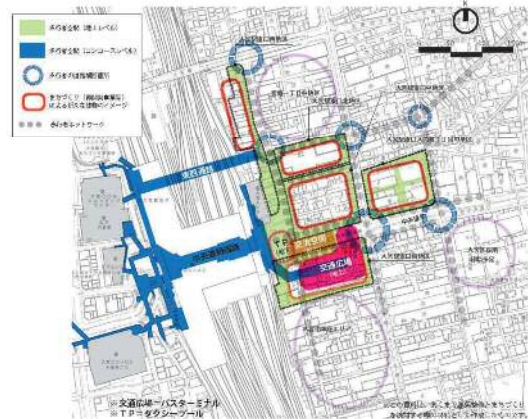
開催日時 : 平成29年8月30日(水) 15:00~16:30 開催場所 : JA共済埼玉ビル 3階 第1会議室
 プログラム :

1. GCS推進会議の目的と経緯、都市再生緊急整備地域の指定について
2. GCS構想検討状況説明：駅前空間スタディパターン等について紹介
3. UDCOの紹介
4. 他都市の駅前空間事例の紹介・・・歩行者滞留空間/交通広場/まちの界限性に関して他都市の駅前空間事例を紹介
5. グループディスカッション・・・「大宮駅の駅前をどんな空間にしたいか」について、6~8名×5グループ程度に分かれ、ファシリテータの進行でディスカッション
6. ファシリテータにより各グループの意見発表
7. UDCOよりコメント、まちづくり推進部会長よりコメント、閉会

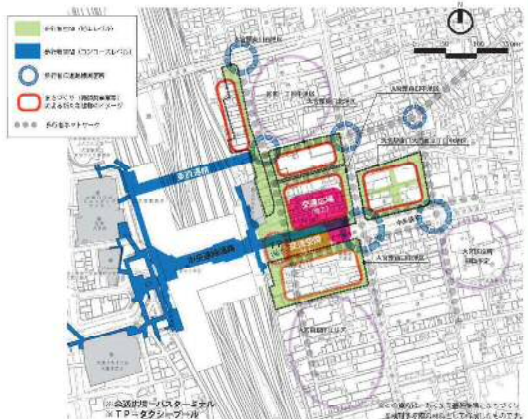
▼ GCS構想の検討状況説明として提示されたスタディパターン図



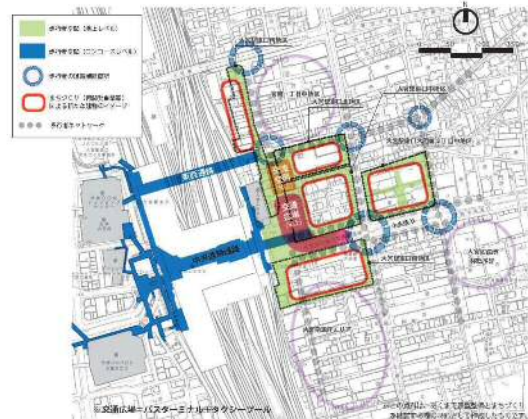
大宮駅北口駅前における
 基盤整備・まちづくり
 スタディパターン
**中央通り
 配置案**
 中央区
 [中央通り配置案]



大宮駅北口駅前における
 基盤整備・まちづくり
 スタディパターン
**交通広場
 南地区
 配置案**
 中央区
 [中央通り配置案]



大宮駅北口駅前における
 基盤整備・まちづくり
 スタディパターン
**交通広場
 中地区
 配置案**
 中央区
 [中央通り配置案]



大宮駅北口駅前における
 基盤整備・まちづくり
 スタディパターン
**交通広場
 銀座通り
 配置案**
 北地区
 [北地区配置案]

▼UDCO の紹介の様子



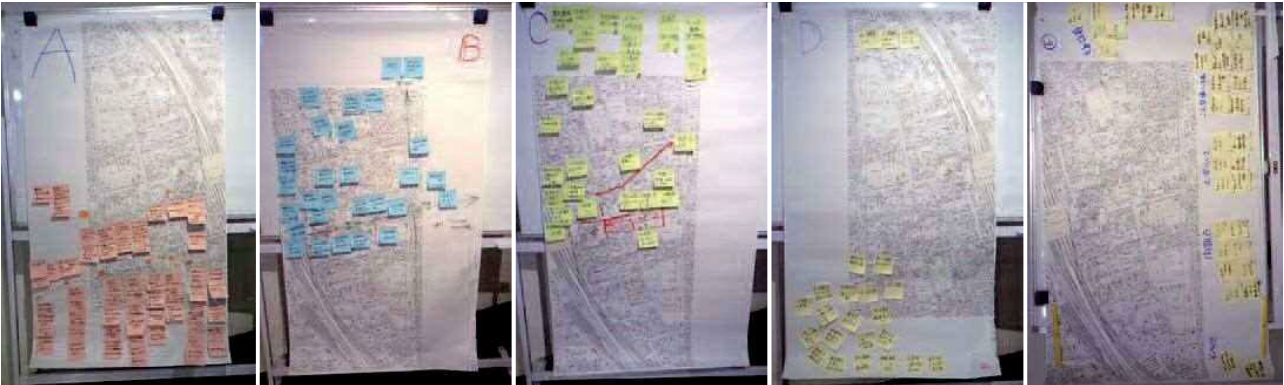
▼スタディパターン説明の様子



▼他都市駅前空間事例紹介の様子



▼各グループの主な意見及びディスカッションの様子



【A 班】

- 大宮のまちの魅力は、①祭りで賑わう空間、②南銀の界限性。界限性を活かすのであれば、近江町市場（金沢）は良い事例。南銀はハーモニカ横丁（吉祥寺）のように賑わうと良い。
- 大宮のグランドデザインをしっかりと定めるべきである。
- 駅前でも氷川緑道の線を感じられるようにしてほしい。
- 駅前を人工地盤にして、人を駅前から出し、祭り等をするのも良い。
- 文化ホールやシンボリックなものがほしい。
- パスターミナルは駅前ほしい。

【B 班】

- 歩行者空間・滞留空間は車道とは分離し、安全安心な空間に。
- 来訪者を大宮の文化・歴史的に重要な場へ導ける駅前空間にしたい。
- エリアとして見沼までの広がりを含め、GCS 構想を位置づけるべき。
- 中央通りと氷川参道という都市軸を魅力的な空間として設える。
- 小規模店舗が並び大宮の界限性は残すべきだが、飲食だけでなく面白みのある空間があると良い。

【C 班】

- 賑わいのある、人が溜まれる空間がほしい。
- 氷川神社・中央通り・一宮通りをつなげ、緑豊かな空間にしてほしい。
- 交通については、地下を活用し、旧中山道で交通処理することで、駅前には人中心の空間に整備してほしい。
- 駅前空間について、祭りの開催は年に1回のため、神輿は中央通りの東側を活用してはどうか。デッキは必要であり、人と緑をバランス良く考慮してほしい。

【D 班】

- 安全安心、若いファミリーの買い物、氷川神社、温かみというキーワード。
- この街を巡りたいと思わせる、政令指定都市の風格と魅力ある駅前へ。
- これまで時間が掛かったことはプラスに捉え、他の駅前の良し悪しを比較しながら、他都市に負けないNo1のまちを目指したい。
- 様々な立場があり観点こそ違おうが、誰も大宮の現状に満足はしていない。
- 大事にしていくべきは、お祭りや良い意味での猥雑さ・雑然さではないか。
- 人と車は分離すべき。
- チェーン店しか成り立たない街ではなく、他都市に勝つ大宮にしたい。
- 夢だけではなく、事業採算性を大事に考え事業実現を考えていきたい。

【E 班】

- 歩行者空間は、現状の東口は30分の時間を潰すところがない。30分間、居心地の良く過ごせる場所がほしい。西口のような閉塞感を感じやすい駅前には好ましくない。空が見えるような空間が良い。
- パス機能は駅前から遠くても構わない。駅前には歩行者を迎え入れる場所にしてほしい。
- 祭りでの山車は未来に残したい街の魅力のひとつ。また、鉄道が集結しており、上から見えるような工夫で、新たな大宮の魅力を創出したい。
- 大宮らしさは、駅の外（氷川神社・見沼等）にあるため、駅自体に大宮らしさはいらぬ。外にある資源にいかにつなげるのかが駅前機能として必要なことである。
- 問題点として、住宅の増加やチェーン店の増加が上げられる。
- 風の来街者を増やして、リピーターが増加するまちづくりをしていかなければならない。

